（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	西本裕輝	所　属	大学教育センター	職　名	准教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.25	共通教育科目においては例年どおり「沖縄の学力と教育」を開設する。専門教育においては例年通り教育学研究科学校教育専攻、臨床心理学専攻の講義「学級集団心理学特論」「学級集団心理学特論演習」等を担当する。	0.25	学士課程教育においては「沖縄の学力と教育」を担当し、修士課程教育においては教育学研究科学校教育専攻、臨床心理学専攻においてそれぞれ「学級集団心理学特論」「学級集団心理学特論演習」を担当した。「沖縄の学力と教育」においては、教科書を出版し、今年度から利用している。
研究	0.25	代表者を務める科研費研究「危機に瀕した沖縄の低学力問題解決のための追跡調査研究」を推進し、研究分担者を務める科研費研究「21世紀型アカデミック・プロフェッション展開の国際比較研究」、「国際的な環境変化に伴う我が国の高等教育システムの機能別分化と規模適正化」にも積極的に関わる。	0.25	代表者を務める科研費研究「危機に瀕した沖縄の低学力問題解決のための追跡調査研究」では、成果として『どうする「最下位」沖縄の学力』を琉球新報社から出版した。研究分担者を務める科研費研究「21世紀型アカデミック・プロフェッション展開の国際比較研究」、「国際的な環境変化に伴う我が国の高等教育システムの機能別分化と規模適正化」にも積極的に関わった。
社会貢献	0.20	今年度も学力問題に関する小中学校や教育委員会等における講演会を積極的に引き受ける。また生涯学習教育研究センターと連携した「『知のふるさと納税』を通した離島支援プロジェクトの効果の検討」に関わり、高大連携の中でも特に宮古・八重山地域で活動する。	0.20	学力問題に関する小中学校や教育委員会等における講演会を積極的に引き受けた。沖縄県高等学校進路指導研究会、あげな中学校、古堅中学校等において講演を行った。また生涯学習教育研究センターと連携した「『知のふるさと納税』を通した離島支援プロジェクトの効果の検討」に関わり、八重山教育事務所等を訪問した。
管理運営	0.30	大学教育センター副センター長として、各種委員会に積極的に関わる。POYの実施責任者、大学教育改善等委員会委員長、URGCC推進支援室長の仕事が中心となるが、職名指定を受けているアドミッション・オフィスにおいては、引き続き調査・研究部門長を引き受ける。生涯学習教育研究センターにおいても運営委員会委員を拝命し、紀要編集委員長などを務める。	0.30	大学教育センター副センター長として、各種委員会に積極的に関わった。POYの実施責任者、大学教育改善等委員会委員長、URGCC推進支援室長として多くの業務に関わった。特に支援室長として全学学士教育プログラム委員会を牽引した。職名指定を受けているアドミッション・オフィスにおいては、引き続き調査・研究部門長を引き受け、成績追跡システムの分析に携わった。生涯学習教育研究センターにおいても運営委員会委員を拝命し、紀要編集委員長などを務めた。
進路指導	0.00		0.00	
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）					
名　前	天野智水	所　属	大学教育センター	職　名	准教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.20	共通教育科目の①「ボランティア体験学習」，②「大学間共同授業」，③「大学教育論」を担当する．①は受講生の省察を促すことを意図して，成績評価方法をレポートから面談による体験報告に変更する．②は今年度妥当番校の方針に従い，授業目的と事前学習を変更する．③は受講者の関心を踏まえて配布資料を見直す．	0.15	①は受講生なし．連携機関である沖縄青少年交流の家職員と意見交換の上，閉講も検討したい．②は目的と内容・方法が噛み合ったプログラムとなったので，次年度も基本的にはこれを踏襲したい．③では配布資料の見直しのほか，ルーブリックを初めて提示・活用し，また振り返りシート作成を今年度新たに課した．「自律性」の達成に寄与する方法であったと考える．
研究	0.35	科研費の補助を得て「大学教員給与の制度理念と実態に関する研究」を実施する．その成果の一部を研究紀要への論文掲載により公表する．	0.40	「大学教員給与の制度理念と実態に関する研究」の成果の一部を本学大学評価センター紀要に投稿した（2月現在査読中）．また，同研究の一環として，全国国立大学部局長等への質問紙調査を実施したほか，ハワイ大学への訪問調査を実施（2月下旬予定）．
社会貢献	0.10	①生涯学習教育研究センターと本センターが共同で実施する離島支援プロジェクトの運営に携わる．②本学訪問校の生徒に対する模擬授業を行う．	0.05	①については携わる機会がなかった．②は2回実施したが，毎回内容を変更しているにもかかわらず，高校生が関心をもちかつ理解できる授業内容であったとの手ごたえを得られず，試行錯誤が続く．
管理運営	0.35	①全学教育委員会，全学学士教育プログラム委員会，大学教育改善等委員会，および科目企画委員会の委員を務めるとともに，大学教育センター会議等で上記委員会の議案作成に携わる．②学生生活委員会委員，大学評価センター評価企画員を務める．③URGCC目標を踏まえた授業方法等に関する全学的なFDの企画立案に携わる．	0.40	①では全学学士教育プログラム委員としての活動が主たるものだった．特に，「ラーニング・ポートフォリオの試行」と「初年次教育実態調査」に携わった．②では学生生活委員として会議への出席のほか，学生寮防災指導，体育祭見回り，および学生生活実態調査に携わった．③では初任者研修の一部で講師を担当し，また，「ラーニングポートフォリオ」ワークショップの企画立案等に携わった．
進路指導	0.00		0.00	
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。